



## Dante Interface X クイックスタートガイド

---

# Dante Interface X

## クイックスタートガイド

Green-GO Dante Interface Xを使用することで、外部の Dante オーディオシステムと接続することができます。Dante インターフェースは、デジタル音声ストリームを Dante または AES67 から Green-GO に（またはその逆に）変換します。アナログからデジタル（および逆）への変換損失は発生しません。

プログラムオーディオ、アナウンス、または32チャンネルを備えたユーザーベースエンジンによる、プログラムオーディオ、アナウンス、および緊急放送チャンネルなどの用途に最適です。

Dante 接続については Dante Controller で管理されます。

Dante のセットアップの詳細についてはこちらを参照してください。

<https://www.audinate.com/resources/training-and-tutorials>

### Features (特徴)

- 4×ユーザーまたはラインIN/OUTベース用ポート
- 4×Dante 入力
- 4×Dante 出力
- 2×イーサコン RJ45ポート – Green-GO用
- 2×イーサコン RJ45ポート – Dante用
- 2.2インチカラーディスプレイ
- 電源はPoE（802.3af-2003標準）給電

## Setup menu navigation (セッティングメニューナビゲーション)

エンコーダーを押すと、Dante Interface X の設定メニューが開きます。メニュー内では、エンコーダーを使用して移動し、パラメーターを設定します。またエンコーダーを押して選択を確定します。

## Setup menu overview (セッティングメニュー概要)

セッティングメニューには、デバイスを変更するためのさまざまな設定があります。メニューセクションとそれに属するオプションについては以下です。

## Set up a Dante connection (Dante 接続設定)

Dante 接続をセッティングするには、まず使用するモードを選択します。ポートを選択して、Set User/Mode までスクロールします。

### Dante connection x

#### Set User/Mode:

- Line in/out** → ポートを汎用入出力として設定します。このモードは、アクティブなプログラムオーディオ入力や外部アナウンス用スピーカーシステムなど、定常的なシステムの接続に使用します。
- Mode: User** → ポートを完全なユーザーベースポートとして設定します。このポートと他の通信システムとの間で音声を送受信できます。現在の設定内から任意のユーザーを選択して、このユーザーのすべてのチャンネル設定をロードします。

## Dante 接続の汎用ライン In / Out 用セットアップ

---

Dante 接続を汎用 Line In/Out として設定します。これは Green-GO ネットワークから Dante オーディオストリームへの入出力するシンプルなラインイン/アウトです。たとえば、プログラムオーディオまたはアナウンスシステムです。

### Mode: Line in/out

**In** → Dante 接続の入力を設定します。

**Group** → 入力をアサインするグループを選択します。

**AutoGain** → ディストーションを回避するためにダイナミックアンプを設定します。設定は、Slow/Med/Fast/Off です。  
AutoGain がオフの場合、Max Gain がゲインになります。

**MaxGain** → 入力信号の最大ゲインを設定します。  
設定範囲は -12~28 dB です。

**Threshold** → 入力のゲートを設定します。スレッショルドは、入力信号を送信するために必要なレベルです。  
設定範囲は -45 ~ -20 dB、または Off です。

**Hold** → 入力のゲートホールド時間を設定します。  
Fast / Med / Long / XLong から選択します。

**Bandwidth** → 入力の使用帯域幅を設定します。

**Normal** → 入力に 7kHz の帯域幅が使用されます。

**Enhanced** → 入力に 14kHz の帯域幅が使用されます。

**In** → 入力ソースを設定します。ライン (Dante) または 125Hz ~ 4kHz のテストトーンです。

**Out** → Dante 接続の出力を設定します。

**Group** → 出力をアサインするグループを選択します。

**Output** → ライン出力のレベルを設定します。  
設定範囲は MUTE、-42 ~ 6 dB です。

**LoopBack** → Loopback レベルを 0 ~ -39 dB、または Off にします。

## Dante 接続のユーザーベースポート用セットアップ

---

Dante 接続をユーザーベースのオーディオ入力および出力として設定します。オーディオは複数のチャンネルで同時に送受信できます。ルーティング、キュー、およびコールは、GPIO によりトリガーできます。

### Mode: User

**Channels** → Dante 接続の個々のチャンネルの設定をします。

**1-32** → 32 のチャンネルのいずれかを選択して、ユーザーまたはグループをアサインします。

**ID** → チャンネルにアサインしたユーザーまたはグループの ID です。  
**Group** → グループをチャンネルにアサインします。  
**User** → ユーザーをチャンネルにアサインします。  
**None** → アサインした group/user をチャンネルから削除します。

**Set Label** → チャンネルに別のラベルを設定します。

**Group** → グループラベルを選択します。  
**User** → ユーザーラベルを選択します。  
**Clear** → ラベル設定をクリアします。

**Talk** → トーク (将来対応機能)

**Disable** → チャンネルのトークは無効です。

**Momentary** → 対応するトリガーがアクティブの間、トークは有効です。

**Latch** → トリガーがアクティブになるたびに、トークが有効または無効に切り替わります。

**Latch/Momentary** → Latch と Momentary の組み合わせです。短いアクティベーションには Latch として、長いアクティベーションには Momentary として機能します。

**Listen** → チャンネルのリッソンのオン/オフを切り替えます。

**Volume** → チャンネルの音量設定です。範囲は -24 dB~12 dB です。

**Priority** → チャンネルのプライオリティレベルを設定します。  
Options メニューの Priority dim も参照してください

**Call Send** → (将来対応機能)

**Call Receive** → (将来対応機能)

**Bandwidth** → 入力の使用帯域幅を設定します。

**Normal** → 入力に 7kHz の帯域幅が使用されます。

**Enhanced** → 入力に 14kHz の帯域幅が使用されます。

**An** → アナウンスチャンネルとして処理されるグループをアサインする。

**Em** → 緊急チャンネルとして処理されるグループをアサインする。

- Program Audio** → Dante 接続のプログラムオーディオチャンネルを設定します。
- Mode** → Normal または Local IFB を選択します。Normal モードでは、プログラムオーディオチャンネルの Green-GO ネットワークで利用可能なグループの 1 つを選択できます。Local IFB は、Dante 接続の入力をこのポートのプログラムオーディオに送信します。このオーディオストリームは、Green-GO ネットワークでは使用できません。
- Src** → プログラムオーディオソースとしてグループを選択します。Local IFB では使用できません。
- Vol** → プログラムオーディオの音量設定です。範囲は Mute、-36 dB~12 dB です。
- Dim** → アナウンスや緊急放送を含むいずれかのチャンネルがアクティブになると、プログラムオーディオを減衰します。範囲は 0 dB ~ -24 dB、および MUTE です。

### Audio In/Out

- Output** → Dante 出力の出力レベルを設定します。範囲は MUTE、-42 ~ 6 dB です。
- LoopBack** → 入力から出力へのオーディオフィードバックのレイシオを設定します。範囲は 0 ~ -39 dB または Off です。
- AutoGain** → ディストーションを回避するためにダイナミックアンプを設定します。設定は、Slow/Med/Fast/Off です。AutoGain がオフの場合、Max Gain がゲインになります。
- MaxGain** → 入力信号の最大ゲインを設定します。設定範囲は -12~28 dB です。
- Threshold** → 入力のゲートを設定します。スレッショルドは、入力信号を送信するために必要なレベルです。設定範囲は -45 ~ -20 dB、または Off です。
- Hold** → 入力のゲートホールド時間を設定します。Fast / Med / Long / XLong から選択します。
- In** → 入力ソースを設定します。ラインまたは 125Hz ~ 4kHz のテストトーンです。

## ポートオプションのセットアップ

---

アクティブチャンネルのプライオリティ、また キュー/コール時のボリュームなどを含む、一般的なセットアップはオプションメニューで行います。

**Options** → ポート固有の設定です。

- Active Time** → 最後のオーディオアクティビティの後にチャンネルがアクティブになるまでの時間を設定します。範囲は 0.5 ~ 45.0 秒です。
- Tone** → Alert、Cue、Connection ステータス、に使用されるオーディオレベルを設定します。範囲は MAX、-1dB ~ -48dB、MUTE です。
- Priority Dim** → プライオリティの高いチャンネルがアクティブになった場合、プライオリティが低いチャンネルに対する音量減衰レベルを設定します。範囲は 0dB ~ -24db、MUTE です。
- Direct Priority** → ダイレクトチャンネルのプライオリティ設定 : Low / Normal / High
- Direct Volume** → ダイレクトチャンネルのボリュームを設定。  
範囲は 12dB ~ -36dB、MUTE です。
- AutoTalk** → チャンネル 1 から 32 のオートーク(AutoTalk)を有効にするかオフにします。AutoTalk が有効の場合、利用可能な音声を選択したチャンネルに送信されます。
- Cue Mode** → ポートのキューへの応答の方法を設定します。
  - Normal** → ポートは着信コールに応答しない。
  - Auto answer** → ポートはコールを保留して、自動的に応答します。
  - Ignore** → ポートは着信コールを無視します。

## Dante 接続のタイプをセットアップ

---

**Connection** → Dante の接続タイプを設定します。

- Local connection** → ポートをローカルネットワークの通常の Green-Go デバイスとして設定します。
- Remote connection** → ポートをブリッジ接続のパッシブ側に設定します。
  - Password** → 接続のパスワードを設定します。パスワードは、接続の両側で同一である必要があります。常に 8 文字の長さです。
  - Generate Password** → ランダムな 8 文字のパスワードを自動生成します。
  - Local Port** → 接続用の TCP ポートをセットアップします。このポートは接続の両側で同じである必要があります。接続ごとに異なる空きポートを使用する必要があります。
  - SndBuf** → ポートから送信されるオーディオパッケージのサイズを設定します。レイテンシーのジッターが大きい場合、より大きなバッファが必要です。
  - RecvBuf** → 受信オーディオパッケージのバッファのサイズを設定します。レイテンシーのジッターが大きい場合には、より大きなバッファが必要です。
- Save** → ポート接続の設定のすべての変更を保存します。この設定でデバイスが再起動します。
- Cancel** → ポート接続の設定のすべての変更を破棄します。

## Generic device settings (ジェネリック デバイス設定)

### Configuration cloning (コンフィギュレーション クローン)

ローカルの Green-GO ネットワーク内のすべてのデバイスは、互いに通信できるように同じ設定 (Configuration) を持つ必要があります。

- Clone Config** → ネットワークから設定ファイルのクローンを作成します。
  - Configuration File A → 設定ファイル A をロードします。
  - Configuration File B → 設定ファイル B をロードします。
  - etc.
  - Factory Default** → 工場出荷時のデフォルト設定ファイルをロードします。

### Set up Network (ネットワークの設定)

---

Network メニューで、Green-GO 内部ネットワークの設定をします。

- Dynamic** → 接続モードを選択します。
  - ON** → ダイナミック IP を使用します。DHCP サーバーがネットワーク上にある場合はデバイスに IP アドレスが提供されます。DHCP サーバーがない場合、デバイスはリンクローカル IP をセルフアサインします。
  - OFF** → 固定 IP を使用します。
    - IP address** → 使用する IP アドレスを設定します。
    - Netmask** → 使用するネットマスクを設定します。
    - Gateway** → 使用するゲートウェイを設定します。
- Save** → 現在のネットワーク設定を保存します。
- Cancel** → 現在のネットワーク設定の変更を破棄します。

### Device options (デバイス オプション)

---

デバイス固有の設定を変更できます。

#### Device Options

- Exit** → メニューから抜けます。
- Backlight** → ディスプレイが切れるまでの時間を設定します。  
常にオン、または、10 秒から 4 時間の範囲です。
- Display** → ディスプレイの輝度を設定します。

## Device information (デバイスインフォメーション)

---

**Info** → Dante Interface X に関する一般的な情報を表示します。

**Config :** → Dante Interface X の現在の設定

**SN: xxx** → Dante Interface X のシリアル番号

**Dante interface 4a61** → ファームウェア情報

**Dante interface 4a61** → ファームウェア バージョン

**Nov 16 2018** → ファームウェア リリース日付

**09:32:09** → ファームウェア リリース時刻

**IP: xxx.xxx.xxx.xxx** → Dante Interface X の IP アドレス

**Mac: xx:xx:xx:xx:xx:xx** → Dante Interface X の Mac アドレス

**Reset All Settings** → すべての、IP、オーディオ、ユーザー、チャンネルの設定をリセットします。(設定ファイルは変更されません)

## Technical specifications (仕様)

電源 :	PoE (IEEE 802.3af)
サイズ :	483mm (19") x 44mm (1U) x 165 mm
重量 :	2480 g

## General safety instructions (安全の手引き)

ご使用になられる前にユーザーマニュアルと安全の手引きをお読みください。

安全と操作上の指示事項に関して遵守してお使いください。

### Cleaning (クリーニング)

機器をクリーニングする前は接続されている全ての電源ケーブルと信号ケーブルを外します。乾いた布で拭いてください。機器に液体をかけたりスプレーしたりしないでください。

### Usage (使用法)

水や湿気のあるところで使用しないでください。 - 換気用の開口部を塞がないでください。換気用開口部は、機器内の空気の流れを確保し過熱から保護するために必要です。 - 製造元の指示に従って設置してください。 - 機器の通気口に物を入れないでください。活電部に物が触れたりショートしたりする可能性があり感電や火災の原因となります。 - ラジエーター、ストーブ、その他熱を発生する（アンプなど）機器の近くに設置しないでください。 - 雷発生時や長期間使用しないときは電源を外してください。不安定な場所には置かないでください。

### Servicing (サービス)

修理が必要な場合は、有資格のサービス担当者に依頼してください。電源コードやプラグが損傷した場合、機器に液体がこぼれた場合、何かを落とした場合、雨や湿気にさらされ通常どおりに動作しなくなった場合、本体が落下した場合、など機器が損傷を受けた場合はサービスを受ける必要があります。以上のような状況が発生した場合は即座に電源プラグを外して販売店またはテクニカルサポートに連絡してください。

## WARNING (警告)

火災や感電の危険を避けるために  
本機を雨や湿気にさらさないでください

## Declaration of Conformity (EU 適合宣言書)

We,

**Manufacturers name:** ELC lighting b.v.

**Manufacturers address:** Weerijds 8  
5422 WV Gemert  
the Netherlands

Herewith take the full responsibility to confirm that the product

**Product Category:** Communication equipment

**Name of product:** Dante Interface X

Which refer to this declaration are manufactured in the Netherlands and complies with the following product specifications and harmonized standards:

**Safety :** LVD (Low Voltage Directive) 2014/35/EU, EN62368-1

**EMC :** 2014/30/EG, EN55032

**ROHS (II):** 2011/65/EU

With the presumption that the equipment is used and connected according to the manual, supplied with the equipment. All signal input- and output connections must be shielded and the shielding must be connected to the ground of the corresponding plug.

Gemert, 21 mei 2019

ing. Joost van Eenbergen

